ありだ市議会だより

保田小学校６年月組

主な内容

３月定例会……2P
令和２年度一般会計予算……3P
一般質問……6P
市の話題……12P

第69号
令和2年5月1日発行

3月定例会

令和2年3月定例会は、3日から25日までの23日間で開催されました。

令和２年有田市議会３月定例会日程

月日	曜	時間	会　議	備　考
3.3	火	10:00	本会議	議案説明･議案質疑（補正予算）
4	水	10:00	常任委員会	予算決算委員会（補正予算）
5	木			（議案調査）
6	金	10:00	本会議	議案質疑･議案審議（補正予算）
7	土			
8	日			
9	月			
10	火	10:00	常任委員会	総務建設委員会
11	水	10:00	常任委員会	文教厚生委員会
12	木	10:00	常任委員会	予算決算委員会
13	金	10:00	常任委員会	予算決算委員会
14	土			
15	日			
16	月	10:00	常任委員会	予算決算委員会
17	火			（議案調査）
18	水	10:00	議会運営委員会	
19	木			（議案調査）
20	金			
21	土			
22	日			
23	月	10:00	本会議	一般質問
24	火	10:00	本会議	一般質問･議案説明（追加議案）
25	水	10:00	本会議	委員長報告･質疑･討論･議案審議

一般会計補正予算額　**13億7,097万1千円を増額**

補正後の予算総額　**174億7,298万5千円**

～主な事業～

●ふるさと応援寄付金事業……5億円

ふるさと応援寄付金の見込額を35億円に上方修正し、ふるさと応援基金積立金等関連経費を増額します。

●水産振興事務事業……6億5,011万円

国の補正予算も活用し、有田箕島漁業協同組合が整備する箕島漁港及び逢井漁港の荷さばき施設等の建設費用を助成し、漁協の競争力強化及び漁業の振興を図ります。

●情報教育推進事業……1億3,963万4千円

国の補正予算を活用し、小中学校の校内LAN等を整備し、Society5.0時代に対応したICT環境を構築します。

令和２年度一般会計予算
168億500万円

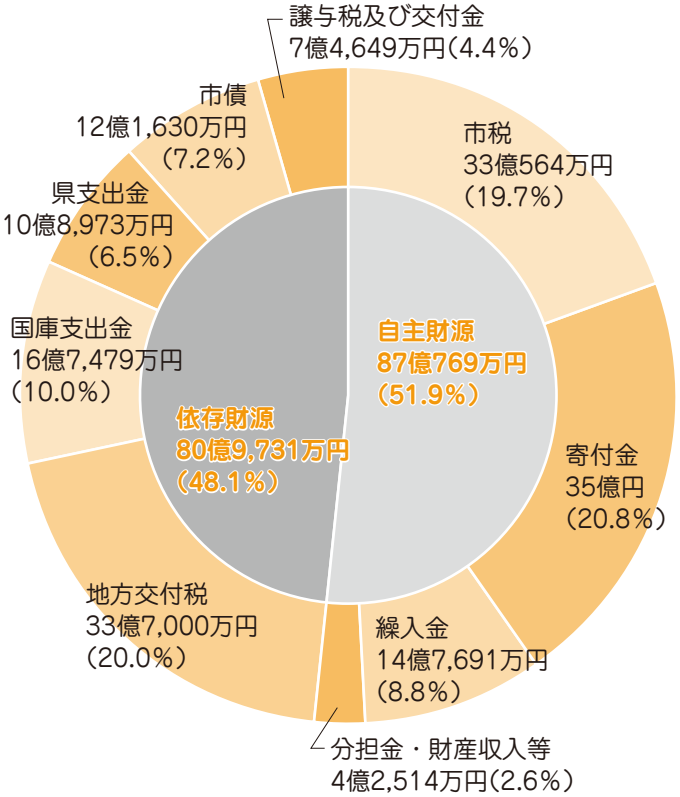
前年度より
24.1%増

歳入 168億500万円

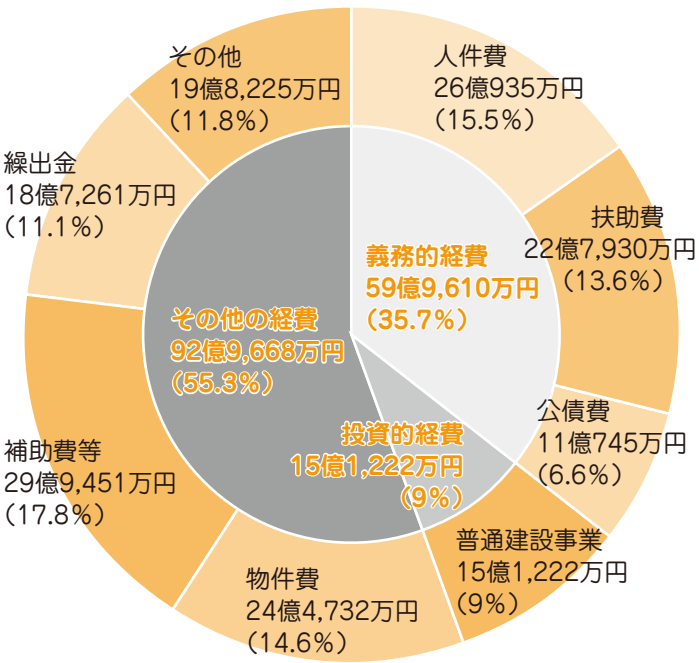
— おもな用語説明 —

- **自主財源**　市が自主的に収入できる財源。市税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入。
- **依存財源**　国や県により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする財源や市債(借金)。国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方譲与税、市債など。
- **市税**　市民税や固定資産税など、市民の皆さんから納めていただく税金。
- **繰入金**　各種基金を取り崩して使うお金。
- **地方交付税**　国が地方に代わって徴収する地方税。
- **国庫支出金**　国から市に対して使い道が特定される負担金・補助金・委託金・交付金。
- **県支出金**　県から市に対して使い道が特定される負担金・補助金・委託金・交付金。
- **市債**　市が国や民間金融機関などから長期的に借り入れる借金。
- **譲与税及び交付金**　国税として徴収し、そのまま地方公共団体に譲与する税と一定の基準により国が交付する税。
- **諸収入**　市税にかかる延滞金・加算金及び過料などいずれの収入科目にも属さない収入。

歳入



歳出

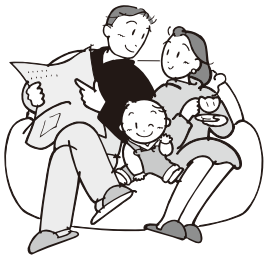


歳出 168億500万円

— おもな用語説明 —

- **義務的経費**　必ず支出しなければならない経費。人件費、扶助費および公債費の３つからなる。
- **投資的経費**　道路、建物など社会資本整備等にかかる経費。
- **その他の経費**　物件費や繰出金、補助費等にかかる経費。
- **人件費**　委員報酬や職員の給与などの経費。
- **扶助費**　生活困窮者・高齢者・児童・心身障がい者等に行っている支援に要する経費。
- **公債費**　公共事業などで借り入れた借金の返済金。
- **普通建設事業**　道路・橋りょう・学校・公園などの整備にかかる経費。
- **物件費**　光熱水費・消耗品・委託料などの経費。
- **補助費等**　各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など。
- **繰出金**　介護保険・国民健康保険・後期高齢者医療などの特別会計収入を補う経費。

主要施策

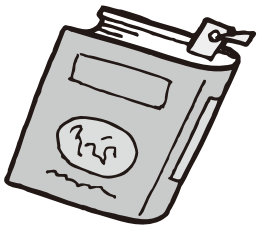


結婚・出産・子育ての取組強化

➤ **母子保健推進事業……2,487万円**

特定不妊治療費に係る助成金の上限額を引き上げるなど、出生数の増加に向けた出産・子育て環境の充実を図る

質の高い教育環境の実現



➤ **学校図書購入事業……1,964万円**

学校司書の配置による図書室の環境整備のほか、児童生徒一人当たりの図書購入費を４千円から６千円に増額し、読書環境の充実を図る

➤ **中学生海外派遣研修事業……642万円**

国際的視野を持った次代を担う人材を育成

➤ **子ども育成支援事業の充実……390万円**

いじめ・不登校等に対応するため、学習支援員及びスクールソーシャルワーカーを配置して、学校生活への復帰等を支援

➤ **小学校トイレの洋式化……370万円**

小学校トイレの洋式化率の向上を図るため、初島小学校のトイレの一部を洋式に改修

令和２年度末で７校全てが改修済みとなる予定

災害に備えた安心安全な環境整備の強化

➤ **市民体育館空調設備整備事業……1億679万円**

市民体育館にエアコンを新設し、長期に渡る避難生活にも対応できるよう避難施設としての機能を向上させるとともに、体育施設としての安心で快適な利用環境を整備

➤ **デジタル防災行政無線施設整備事業……7,932万円**

防災行政無線のデジタル化整備により、市民への広報を迅速かつ的確に行うことで、市民の安心安全の提供を図る

➤ **不良空家等除去補助金……5,600万円**

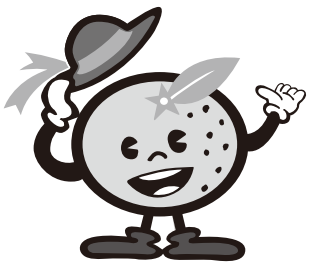
不良空家等の除却に要する費用に補助を行うとともに、固定資産税の住宅用地に対する特例措置を最大５年間継続する

➤ **初島排水区２号幹線整備工事……3,200万円**

雨水による浸水被害解消対策として排水路を整備

令和２年度

誇りある地場産業を次世代に残すための取組

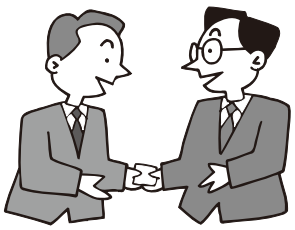


➢原産地呼称管理事業……696万円

平成22年度より実施、市の特産品、特に有田みかんブランドの高品質なものを公的部門が「有田QUALITY」として認定・管理することで、消費者に安心・信頼を与え、ブランド力の向上をめざす

➢地域ブランド推進事業……744万円

有田みかんやみかん加工品などの特産品の販売促進及び市内事業所の自立的な販路拡大を支援するとともに、本市の地域ブランドの活性化、産業振興への取り組みをPRし、新規就農等につなげる



➢地域特産品等広報事業…… 15億7,500万円

有田みかんをはじめとする地域特産品について、ふるさと応援寄付金制度を活用して全国的な知名度を向上させ、特産品の販路及び消費の拡大を図る

観光振興につながる取組推進

➢観光施設整備事業……2,100万円

地ノ島に完全自己処理型のトイレを設置することにより、不足しているトイレを増設し、来島者の満足度等の向上を図る

空家等を活用したイノベーションの創出

➢三世代定住等支援事業費補助金 ……500万円

市内で子ども世帯が親世帯と同居・近居することを促進するため、住宅取得等の費用に補助を行う

➢移住支援事業助成金……200万円

UIターン就職を促進するため、定額100万円を給付し、東京23区からの移住を支援

➢移住交流促進事業……829万円

地区住民とともに移住交流拠点施設「くらしちゃる矢櫃」を活用した事業等を実施するとともに、観光ビジネスプランを策定し、矢櫃地区の交流人口及び移住者の増加につなげる

一般質問「市民の声を議会に!」

一般質問通告一覧表

【午前 10:00】　令和2年3月23日

順位	氏名	発言の要旨
1	小西敬民	1．国民健康保険税条例の改正について (1)市民の痛税感の緩和に役立つ、住民が主人公 2．人口減少に対する取り組みについて市長に問う (1)18歳高校卒業まで医療費無料化 3．議案第５号有田市立小学校、中学校設置及び管理条例の一部を改正する条例について (1)第２条の改定は、どうして令和６年４月１日からなのか？ 4．感染病対策は国の責任 (1)中小零細事業者はすべて生業だ、国の支援待ちだけでなく、市単独見舞金を考えてみては (2)感染病対策マニュアルは機能したか 5．加齢性難聴対策について (1)特定健診に項目追加、補聴器購入補助制度を設ける
2	中谷桂三	1．有田市消防団活動について (1)現状と今後 2．新型コロナウイルス感染症について (1)有田市の対応 3．有田市立保育所の統廃合について (1)現状と今後 4．有田市立中学校統合について (1)新校舎建設資金
3	児嶋清秋	1．都市計画道路（愛宕川端線）について (1)進捗状況について ①今後のスケジュール
4	中西登志明	1．ふるさと応援寄付金について (1)令和元年度の実績と詳細、クレーム件数とその対応について (2)クラウドファンディング型ふるさと納税について (3)返礼品に電子感謝券の取入れについて (4)企業版ふるさと納税について
5	成川　満	1．「住み続けられるまちづくり」について (1)まちづくりの考え方について (2)都市計画マスタープランについて (3)都市計画道路について
6	堀川　明	1．会計年度任用職員制度の導入について (1)報酬について、現在の賃金制度との比較 (2)今後の予算変動について 2．市長３期12年の自己評価と今後の思いについて

【午前 10:00】　令和2年3月24日

7	岡田行弘 【一問一答】	1．市民の命を守る防災・減災対策について (1)デジタル防災ラジオについて (2)災害避難協定について (3)大雨・豪雨への市内排水計画及び対策について 2．将来に向けてのSDGsの取組について (1)SDGs推進について 3．GIGAスクール構想について (1)本市のコンピュータ端末の整備の現状 (2)教師がICTを効果的に活用できる取組み (3)特別支援教育におけるICTの活用
8	池田敦城	1．市立病院について (1)市長の考えを伺う

人口減少に対する取り組みについて 市長に問う 他

日本共産党 **小西敬民議員**

質 今後本市は急激な人口減少に見舞われることになります。将来を考えると、就労の場の確保・子育て世代への支援、18才までの医療費無料は、早急に実施すべきと考えるが。

答 市長答弁。人口減少を見越し、福祉、行政の合理化のバランスを取る。

質 国保条例の改正は、一世帯あたり2万円の減額で評価したい。

答 今後も基金を活用し継続する。

質 中学校統合については、令和6年統合は時期尚早、先に市民周知徹底を。

答 周知しながら令和6年統合で。校名は、有田市立有和中学校、立地場所は現箕島中学校とする。

質 新型コロナウイルス対策については。

答 平成27年に策定した行動計画があり、新型コロナ感染症にも対応、保健所との連携強化で、感染症指定病院の役割を果たす。

有田市立病院

質 加齢性難聴について。①特定健診に聴力検査を追加。②補聴器購入時の補助は。

答 特定健診は、国の基準で項目外。補聴器補助は、国や他自治体の動向を注視していく。

有田市立中学校統合について 他

市民クラブ **中谷桂三議員**

質 洪水浸水想定区域に指定されている場所に、何故建設するのか。市長に答弁願います。

答 災害に対する備えは確かに重要で必要です。津波や洪水を正しく理解し、正しく恐れることにより、日々の快適さを犠牲にすることなく、豊かで効率的な中学校生活を送って欲しいと思っています。JR箕島駅や公共施設も近くにある現在の箕島中学校の敷地に新中学校を建設してまいりたいと考えています。中学校統合につきましては、いろんなご意見があります。特に、統合時に該当する保護者の皆様には、不安なこと、心配なことなどがあると思いますので、その解消に努めてまいります。

要望 借地割合が約66.7%、年間の借地料が2,260万7,782円。洪水浸水地区に指定されている、数億円単位の有田市民の税金が投入されること、一番の反対理由は、有田市の将来を担う中学生の方達の生命を守るためです。行政のトップである望月市長の言葉を信じ、子ども達の生命を守ることの絶対条件でお願いします。

箕島中学校

都市計画道路（愛宕川端線）について

無会派 **児嶋清秋議員**

質 南北道路は今から約60年前、昭和34年の延長約340メートル幅員約11メートルの計画から、延長約270メートル幅員約9メートルにダウンサイジングしての計画に変更することを昨年1月28日に箕島地区再開発推進協議会へ説明。さらに昨年の令和元年10月18日、箕島地区連合自治会及び近隣住民約50名に計画変更も含めた説明会を開催したと聞いている。現在は早期事業着手に向け、事業認可の取得業務を進めている。認可がおり次第、詳細設計、来年度から用地測量、物件補償調査を実施予定とのこと。令和2年度の予算に測量設計の委託料1，300万円が計上されているが、進捗状況とスケジュールを伺いたい。

答 都市計画の変更は完了。事業認可について、県と協議をしている。認可がおりれば、道路設計、用地測量等、スピード感をもって進めていく。

提言 まちづくりの基本は道づくりです。この事業が完成できることを願う。

ふるさと応援寄付金について

無会派 **中西登志明議員**

質 有田市一般会計の歳入部門で年々大きくなっています。国の制約がなく寄付者の意向に沿った地域活性化の為に使う事ができる重要な予算です。この寄付金が地方財政にとって重要となり、関連する「クラウドファンディング型ふるさと納税」「企業版ふるさと納税」と電子感謝券の取入れについて、提案します。

答 本年度2月末での寄附実績は、寄附件数248，830件、寄附額33億5，189万円、と大幅な増でした。「クレーム」は、「みかん」に対するもので、55，339件のうちの約0．25％でしたが、この抑制に努めます。また、クラウドファンディング型ふるさと納税と企業版ふるさと納税について、まち・ひと・しごと創生総合戦略をもとに政策目的達成の最適な手法の場合は採用します。電子感謝券については、「浜のうたせ」をはじめとする魅力的な市内観光資源に着目した訪問型・体験型返礼品の発掘と並行し、事業者の準備状況等も踏まえつつ導入に向けた検討をします。

「住み続けられるまちづくり」について

無会派 **成川　満議員**

質 まちづくりには転機がある。最も大きな転機は、阪神淡路大震災。神戸復興の基本的な土台となったのが、震災を教訓としたまちづくりであった。道路や公園や宅地をつくるだけではなく、コミュニティーづくりやそれに携わる人づくり、防犯・防災・福祉などトータルとしての地域社会づくりに懸命に取り組んでいる。本市では、国道42号有田海南道路の完成を見据えて、物流や人の動きの変動による地域社会の変化に対応したまちづくりの見直しを進めて頂きたい。

答 人口減少社会でのまちづくりは、中心市街地の既存のストックを活用し、都市機能を集約させながら、各集落との交通インフラを整え、高齢社会にも対応するコンパクトシティの考え方が必要。また、集約後の各集落の跡地活用は活性化の大きなチャンスと捉えており、民間による活用も含め地域の皆さんと一緒になって考えていきたい。42号バイパスを転機とし、誇れる個性あるまちづくりを皆さんとともに進めてまいります。

有海ニュースVol.3

会計年度任用職員制度の導入について 他

政礼クラブ **堀川　明議員**

質 会計年度任用職員制度の導入によりどう変るか。

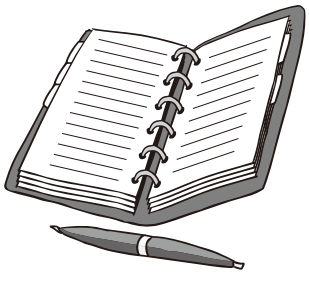
答 臨時・非常勤職員の適正な任用を確保する為の改正であり、期末手当の支給がされる。保育士や保健師など資格を必要とする職種には号給を加算し、期末手当の支給日数を三年かけて正規職員と同じ水準に引き上げます。

質 市長、3期12年をどのように自己評価しているか。

答 就任時は8億を超える退職手当債の借金を抱え、人件費削減、交際費の抑制等を図りながら財政健全化をしました。原産地呼称管理制度も成果が見えるものとなりました。東燃和歌山工場閉鎖の危機、市立病院の危機、広域ごみ処理場次期施設問題、防災減災の取組、消防庁舎・市民会館新設、ふるさと納税のスキームづくり（成果有）など私自身、全力で走ってきました。議員、市民、市職員に感謝し自己評価とします。

質 首長選挙が今年9月に予定されているが、立候補は？

答 三期目は最後の期間と決め、全力で仕事しました。いろんな方々から四選目について意見を頂いています。深く悩みますが答えに至らず、今しばらく熟慮の時間を頂きたく思います。



選挙終了後禁止される挨拶行為は、戸別訪問したり、当選祝賀会その他の集会、パレードを開催すること。

大雨・豪雨への市内排水計画及び対策について 他

公明党 **岡田行弘議員**

質 市内における道路冠水、床下・床上浸水被害が発生した地域の、排水計画は。

答 箕島ポンプ場の排水能力の向上と施設の老朽化対策、耐震・耐津波対策の実施計画を作成中でございます。初島地区は、未整備路線である2号幹線（通称：やまぎわ排水）を、今年度より事業に着手、市内の浸水被害を少しでも軽減できるよう、引き続き努力してまいります。

提言 被害に遭われる方は、大雨・豪雨になれば夜も眠れないほど深刻な事態です。その気持ちに寄り添わなくてはならない、目を背けてはならない、問題を棚上げにしてはいけない、それが行政です。

GIGAスクール構想について

質 本市としての「GIGAスクール構想」の実現に向けて、市長としての思いや覚悟をお答え下さい。

答 令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境を実現させていきます。

提言 GIGAスクール構想の実現で、教師の仕事は質・量の両面から改善できます。

学校のICT（情報通信技術）環境

現状 児童生徒数5.4人にPC1台（全国平均）

※1台当たり1.9人～7.5人と都道府県でも格差

全国的に整備の底上げが急務

政府の「GIGAスクール構想」

●1人1台の端末と学校内で高速かつ大容量の通信ネットワークを整備

市立病院について市長の考えを伺う

政礼クラブ **池田敦城議員**

今回の一般質問の質疑応答の内容につきましては、議会だより広報編集委員会で規定されている400字以内での記載では内容をお伝えすることが非常に困難であり、全議事録を御覧いただくことで、より詳細に市立病院の経営状況や様々な内情を窺い知ることができるのではないかと思います。

大変申し訳ございませんが、市議会のホームページ等、また、公民館等で議事録を是非ご覧いただきますよう御願い申し上げます。

賛否の分かれた議案

○ 賛成　× 反対

議員名	中西登志明	上野山善久	成川 満	小西 敬民	上山 寿示	池田 敦城	岡田 行弘	児嶋 清秋	中谷 桂三	堀川 明	生駒 三雄	宇野 博治	福永 広次	西口 正助	浜口 元司	結果
会派名				日本共産党		政礼クラブ	公明党		市民クラブ	政礼クラブ	政礼クラブ	市民クラブ				
議案名																
議案第５号	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○	議長	×	○	○	○	可決
議案第７号	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	可決
議案第１０号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	可決
議案第１３号	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○	議長	×	○	○	○	可決
議案第１７号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	可決
議案第１８号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	可決

＊議長は賛否に加わることはできません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「採決権」が認められています。
＊詳細については、各議員におたずね下さい。

選挙終了後禁止される挨拶行為は、当選御礼の葉書や看板を頒布、掲示すること。ただし、自筆の信書、祝辞・見舞いの答礼のためにする信書は差し支えありません。

令和２年３月定例会審議結果表

議案番号	件　　名	議決年月日	可　否
議案第１号	専決処分の承認を求めることについて （令和元年度有田市一般会計補正予算（第５号））	2.3.6	承　認
議案第２号	職員の服務の宣誓に関する条例及び有田市非常勤委員等の報酬及び費用弁償条例の一部を改正する等の条例	2.3.25	可　決
議案第３号	有田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	〃	可　決
議案第４号	有田市監査委員条例等の一部を改正する条例	〃	可　決
議案第５号	有田市立小学校、中学校設置及び管理条例の一部を改正する条例	〃	可　決
議案第６号	有田市印鑑条例の一部を改正する条例	〃	可　決
議案第７号	有田市改良住宅管理条例及び有田市営住宅管理条例の一部を改正する条例	〃	可　決
議案第８号	有田市通所支援事業所条例を廃止する条例	〃	可　決
議案第９号	有田市水泳場整備基金条例を廃止する条例	〃	可　決
議案第10号	有田市長期総合計画条例	〃	可　決
議案第11号	令和元年度有田市一般会計補正予算（第６号）	2.3.6	可　決
議案第12号	令和元年度有田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	〃	可　決
議案第13号	令和２年度有田市一般会計予算	2.3.25	可　決
議案第14号	令和２年度有田市国民健康保険特別会計予算	〃	可　決
議案第15号	令和２年度有田市初島財産区特別会計予算	〃	可　決
議案第16号	令和２年度有田市漁業集落排水事業特別会計予算	〃	可　決
議案第17号	令和２年度有田市介護保険特別会計予算	〃	可　決
議案第18号	令和２年度有田市後期高齢者医療特別会計予算	〃	可　決
議案第19号	令和２年度有田市上水道事業会計予算	〃	可　決
議案第20号	令和２年度有田市立病院事業会計予算	〃	可　決
議案第21号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	2.3.6	同　意
議案第22号	有田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	2.3.25	可　決
請願第１号	有田地域の医療の充実を求める請願書	〃	採　択
意見書案第1号	防災・減災、国土強靭化のための３か年緊急対策事業の期間延長を求める意見書の提出について	〃	可　決
意見書案第2号	有田地域の医療の充実を求める意見書の提出について	〃	可　決
――――	議員派遣の件について	〃	可　決
――――	各委員会の閉会中の継続審査及び調査について	〃	可　決

※　　は、賛否の分かれた議案です。

市の話題

ウエノ公園・無縁寺春の大祭

小１年生

編集後記

今年度、一般会計予算額が過去最大となりました。

人口減少、少子高齢化など社会情勢が変化する中、議会が果たす役割は益々、大きくなると考えています。

本市の将来を見据え、議会として慎重に審議し責任を持って議決しています。

皆様に議会への関心を持っていただき、市民とのコミュニケーションの役割を担う議会だよりの作成に、これまで以上に努めますので今後ともよろしくお願いします。　（岡田）

議会広報編集委員会
委員長：中谷桂三　副委員長：上野山善久
委員：岡田行弘・池田敦城・小西敬民・成川満

3月定例会（マスク着用）

発行／有田市議会
編集／議会広報編集委員会
〒649-0392　和歌山県有田市箕島50
TEL　0737-83-2443
FAX　0737-83-5524
E-mail　gikai@city.arida.lg.jp